

長引く咳について

内科 徳毛 健太郎

患者さんの訴えの中で、比較的多いものの一つに、咳があります。実際、咳が続いて困る経験をされた方も多いかと思えます。本稿では、咳の原因となる主要な疾患について簡単にご紹介いたします。

<感染後の咳（感染後咳嗽）>

風邪を引いた際、鼻、のど、気管支に感染症が引き起こされると、咳が続くことが一般的です。風邪の原因は主にウィルスで、通常、1-2週間で症状が改善します。しかし、時折、3-4週間経過しても咳だけが持続することがあります。これを感染後咳嗽と呼び、通常は自然に治りますが、症状が辛い場合は鎮咳薬などを使用して緩和できます。新型コロナウイルス感染症の後に感染後咳嗽が長引くケースはしばしば見受けられます。中には肺結核など別の疾患が絡むこともあります。

<気管支喘息と咳喘息>

気管支喘息はアレルギー反応により、気管支が刺激に過敏に反応し、炎症が引き起こされ、気管支が収縮しやすくなる疾患です。これにより、息切れや咳が頻繁に発生します。息をする際にゼーゼー、ヒューヒューという音が聞こえることもあります。咳喘息は気管支喘息に似ていますが、気管支の収縮がなく、主な症状はコンコンとした咳です。通常は症状が軽度で、日常生活に支障をきたしません。季節の変化、運動、アレルギー、ペット、埃の吸引、風邪などが発症の要因となることがあります。適切な治療により、症状はコントロールできますが、アレルギーに関連する疾患であるため、定期的な診察が必要です。

<慢性閉塞性肺疾患>

慢性閉塞性肺疾患は一般的にCOPDと略され、ほぼすべての原因が喫煙に関連しています。長期間の喫煙により、気管支が持続的に炎症を起こし、収縮し、さらには肺組織の破壊と肺気腫（肺に空洞ができる状態）が生じる可能性があります。これらの影響による慢性的な咳、痰の増加、息切れなどが一般的な症状となります。初期段階では咳が主な症状であり、日常生活に大きな影響を及ぼしませんが、病勢が進行すると息切れが悪化し、日常生活に制約をもたらすことがあります。治療の基本は禁煙であり、喫煙者はできるだけ早く禁煙を考えるべきです。必要に応じて薬物療法や酸素療法も検討されます。COPDは進行性の疾患であるため、早期の診断と治療が非常に重要です。実際、落語家の桂歌丸さんもCOPDによりお亡くなりになりました。

他の原因

咳の原因として、胃酸が食道や咽頭に逆流して咳を引き起こす胃食道逆流症や、鼻炎などがきっかけで鼻の奥から分泌された鼻汁により咳が生じる後鼻漏など、さまざまな疾患が考えられます。当院では毎週火曜日の午後に咳外来を行っておりますので、長期にわたり咳が続く場合は、お気軽にご相談いただければと思います。早期の診断と適切な治療により、咳の症状を緩和できるかもしれません。

オンライン面会を行っています。

予約制となっておりますのでご希望の方は

公立世羅中央病院 ☎0847-22-1127へお問合せください。

